

コデラカブロン  
古寺 保治 様

平成 26 年 3 月 28 日

お世話になっております。

2 種類のウイルスを使用して抗ウイルス効果を検討しました。

使用ウイルス：牛鼻炎 B ウイルス（口蹄疫類似のウイルス）  
牛アデノウイルス 7 型（野外常在のウイルス）

検体：銅線維、銅線維織込生地、銅線維織込ネット

方法 検体（銅線維、0.15g；その他は 2 cm<sup>2</sup>）にウイルス液を 150ul しみ込ませ室温で 1 時間放置。その後、600ul の PBS を加えてウイルス液を回収しウイルス力価を測定。

結果 銅線維：牛鼻炎 B ウイルスに対して 99.6%以上不活化（検出限界）、牛アデノウイルスに対して 99.99%以上不活化（検出限界）

銅線維織込生地：牛鼻炎 B ウイルスに対して 99%不活化、牛アデノウイルス 7 型に対しては 99.8%不活化

銅線維織込ネット：牛鼻炎 B ウイルスに対して 99%不活化、牛アデノウイルス 7 型に対しては 99.6%不活化

以上より、これらは全て口蹄疫ウイルスの消毒に使用できる可能性があると思われます。また、常在のアデノウイルスに対しても不活化効果が認められました。

以上です。

酪農学園大学  
桐澤